

その2

温泉街で昼食をとり、層雲峡付近からは石狩川沿いの切り立った岩肌を眺めながら快調に下った。やや下りだった事もあるが亀組も信じられないスピードで走り切り旭川市内今宵の宿に向かった。



第三ステージ 旭川～幌加内～朱鞠内湖～天塩川温泉

今日も素晴らしい青空だ。先ずは河川敷を下る事から始まった。

出来る限り車の少ないルートを探してくれた主催者の努力がうか

がえる。



2013. 7. 23 7:05

旭川の盆地から江丹別峠を越え蕎麦処の幌加内に入った。今はソバの花が最も
きれいな時期だろうか、見渡す限り続く花畑？に囲まれながらのライドだった。
この辺から朱鞠内湖に至るところは仕事時代に土別で 3 ヶ月程就業した事があ
り、その折にバイクを持参し暇を作っては駆け回っていた事が思い出される。

2013. 7. 23 8:01

この橋は美深～深川の旧国鉄の廃線
の名残(全線開通は無かった?)





蕎麦粉日本一の幌加内と言えばこれを食べるしかないでしょう。添牛内で昼食。

日本で最も大きい人造湖、そして最も寒い -41.2°C で知られる朱鞠内湖。

今回 -41.2°C のモニュメントを見逃した？、でもほんとにきれいだ。

あとは下るだけ、美深、今宵の宿天塩川温泉に向けて GO!



第四ステージ 天塩川温泉～幌延～豊富～宗谷岬

ツーリング最後の日になってしまった。今日も晴天に恵まれ快適なライドになりそうだ。暑いとは言え流石に最北端に近づいており爽やかだ。高い山は無くなり冬の厳しさを物語る暴風防雪柵が延々と続く。そして北海道に来ると見かける路肩の草刈り作業に足を止めた。



2013. 7.24 10:24

もう北の海は近い。ここまで来るとほとんど牧草地しか見当たらない。これは牧草をかき回して反転乾燥させる作業だろう、見入ってしまう。



2013. 7. 24 12:01



ついに宗谷の海に出た。岬まであと10kmの地点にて全員記念の黄色いTシャツに着替えラビットも亀組も一緒にパックで走行、感慨を共有した。

全員事故、故障もなく到達できた事を喜びあった



宗谷岬、定番のポーズで雄叫び！

